


平成31年度 都立学校・学校経営シート

校章		都立瑞穂農芸高等学校 定時制課程		教育課程の 特徴	普通科生徒も1年次に農業と環境(3単位)を学習する。 1・2年次の国語、数学、英語は習熟度別授業を行う。										
		生命(いのち)に学び夢を叶える ～Learn about life and realize your dreams～				進路 指導	実績	四年制 大学	15%	短期 大学	0%	専門 学校	31%	就職	38%
基本 情報	所在地	〒190-1211 西多摩郡瑞穂町石畑2027番地		電話 番号	042-557-0142										
	アクセス	(1) JR八高線箱根ヶ崎駅より徒歩20分 (2) JR青梅線立川駅・昭島駅より立川バス箱根ヶ崎行、瑞穂町役場入口下車徒歩15分 (3) 西武新宿・拝島線柳沢、小平、東大和市駅より青梅車庫行、瑞穂町役場入口下車徒歩15分													
	学 科	併合科(普通科・農業科)													
	在 籍 生 徒 数	普通科34人(男18人、女子16人)、農業科52人(男子35人、女17人)													
	そ の 他	校 服	指定なし												
本 情 報	主 要 部 活 動	テニス 水泳 野球 バドミントン サッカー 軽音楽 園芸 イラスト 卓球同好会													
	学 校 評 価	学校評価アンケート:授業満足度74.7%、進路満足度68.1%、学校生活満足度67.1%													
目 指 す 学 校	入 学 選 抜	募 集 人 員	30名(男女問わず)												
	そ の 他 特 徴	自校作成問題(国語・数学・英語 各25分) 面接													
目 指 す 学 校	主 要 学 校 行 事	新入生歓迎会、芸術鑑賞教室、校外学習、文化祭、球技大会、送別会、修学旅行													
	ホ ム ペ ー ジ	http://www.mizuho-h.metro.tokyo.jp/site/tei/index.html													
校訓「至誠」「勤勉」「創造」のもと、生命や環境についての学習をとおして「知る」「わかる」「できる」「つかう」のステップで生徒一人一人の可能性を最大限に伸ばし、豊かな心をもつ自立した社会人を育成する学校。															

今年度の重点目標		今年度の取組と自己評価													
目 標 ①	生徒の実態に合わせた教育活動を通して、わかる楽しさが実感できる授業を実践する。 ・言語活動を重視した授業で基礎学力と「考える力」を身に付けさせる ・補習、補講を計画的に実施し基礎基本の定着と確かな学力の増進を図る。 ・アクティブラーニング型授業を取り入れ基礎的な学力や考える力を身に付けさせる。 ・農業科では課題研究を通して思考力、判断力、表現力を伸ばす。	・すべての教員が「聞く」「話す」「読む」「書く」等の言語能力を付ける授業を実践し、基礎学力とともに「考える力」を身に付けさせることを行った。 ・進学意欲をもった生徒や成績不振の生徒のために、国語、数学、英語の各科において、基礎学力の定着や学力向上に向けた補習を延べ100回以上行った。 ・3人1組のOJTチームを編成し、お互いの授業観察を行った後、研修会を2回開催し、レポートにまとめ、授業力向上に努めた。													
目 標 ②	身に付けさせる規律・規範を自ら守る意識を確立させ、他を思いやる心を育む ・遅刻指導の徹底のため『時間を守る』など授業規律や礼節の指導を徹底する。 ・きめ細かい生活指導を行い学校不適應等による中退者を減らす取組を行う。 ・いじめ防止アンケートを実施し、いじめの早期発見に努める。 ・創立70周年に向けた取組を推進し母校愛を醸成する。	・授業開始のチャイムとともに授業を開始し、生徒に「時間を守る」意識を育成する指導を行った。遅刻者総数の数値目標を上回ったため、次年度も引き続き指導する。 ・個人面談や三者面談、保護者会、毎日の教員打ち合わせ等とおして、きめ細かく生徒の様子を把握し、生徒が安心して生活できるような学校づくりに努めた。 ・スクールカウンセラーによるアンガーマネジメントやモラトリアムの視点からの相談活動を実施した。 ・創立70周年式典行事とおして、地域連携、地域発信を行うことができた。													
目 標 ③	キャリア教育を推進し、自ら進路を切り開く力を育成する ・キャリア教育全体計画をもとに、進路の手引きを活用し企業見学、進路ガイダンスなどを充実させ、自己の適性や具体的目標を見つけさせる。 ・生徒個々の適性や希望に合わせた進路指導を徹底し、就職、進学とも進路未決定のまま卒業する生徒を無くす。	・「進路の手引き」を発行することができなかったが、進路指導主任と担任が連携し、きめ細かな指導をした結果、進路決定率を90%にすることができた。 ・自己のあり方生き方を考え、自ら進路を切り開く力を着実に身に付けさせるため、進路主任を中心に組織的な指導計画を立案し更なる指導の充実を目指す。													
数 値 目 標	今年度の数値目標の内容				28年度		29年度		30年度		今年度		32年度	33年度	34年度
					目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標	目標	目標
	目標①	授業満足度(%)			85	79	85	74.7	85	82.1	85	66.4	85	85	85
	目標②	1日1クラス当たりの遅刻者数(人)			2	2.4	2	28.6	2	3.3	2	1.9	2	2	2
目標③	就職決定率(%)			100	100	100	100	100	94.4	100	88.2	100	100	100	